



法人便り 7月号

令和7年7月6日

保護者・ご家族、そして職員の皆様

社会福祉法人聖母の家
理事長 植木 存

お変わりございませんか。

平素は、格別のご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
あらためて感謝と御礼を申し上げます。

7月2日の夜、梅雨明けを知らせるかのように雷鳴が轟きました。
まるで天地を引き裂くかのような凄い雷鳴でした。



今年の梅雨(つゆ)は、最短の期間だと言われています。
それだけに、高温の夏日が長く続くこととなります。
体調管理が最も大事な時季となります。

ひとつは、『熱中症への対策』が不可欠です。とても重要です。
室温の適正な管理などによる体温調節はもとより、水分補給が大事です。
利用者の皆さんの日頃の細やかな体調管理と熱中症予防に努めてまいります。

ふたつには、食品の適正な管理による『食中毒対策』が大事です。
隣県の愛知や岐阜では、食中毒警報が発せられました。
食品の適正な管理を十分にすると共に食中毒の防止に努めてまいります。

各施設・事業所の便りには、利用者の皆さんの笑顔が溢れています。

7月7日は『七夕』です。

天の川の兩岸で、織姫と彦星が会う日です。

利用者の皆さんが、どんな願いや思いを『短冊』に託すのでしょうか。
想像するだけで、ワクワクしてきませんか。



これから本格的な夏を迎えます。どうぞ体調には十分お気をつけて、
お元気にお過ごしください。

今後とも宜しく願い申し上げます。

